



2023年
女子柔道振興イベント
JUDOフェスタ
inおかやま

実施報告書

JUDOフェスタ

in

おかやま

イベント詳細は
コチラ↓

2023.11.11 sat

10:00 - 15:30 ▶ 岡山大学柔道場 他

ベンガラ染め × 柔道場あそび

入場
無料

岡山県柔道連盟 女子柔道振興委員会
後援: 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会(予定)



みんな集まれ!
ベンガラ染体験

×

柔道場あそび

柔道を
している人って
やさしい!

ベンガラ染も柔道も
やってみたら
とっても楽しい!

柔道場の畳って
フカフカ!

ベンガラ染って
どんな模様
になるのかな?

申込フォーム↓



日時: 2023.11.11(土)

第1部: 9:00~10:30

第2部: 11:00~12:30

第3部: 13:30~15:00

募集人数: 各部150名

応募締切: 2023.11.8(水)

津島キャンパス



岡山大学

チラシ
3000枚配布
幼稚園
小学校
中学校など

SNS
Instagram
子どもとおでかけ
岡山イベント情報
掲載
フォロワー3.4万人
など

イベントの詳細

1 開催趣旨

現在、様々な活動が再開される中で、子どもたちの豊かな身体活動の機会を提供していかなければならない。そのような中、柔道の良さをどのように社会に発信し、特に女子の活動を充実させる取り組みについて検討してきた。そこで、昨年に引き続き女子柔道振興イベントを開催し、広く柔道の良さを親子に認識してもらおうと同時に、柔道場で目一杯遊び活動できるような企画を立案した。

また、県内の本事業に賛同していただける道場にも参加を募り、さまざまな情報交換をすると同時に、今後女子柔道が地域社会の中にどのように根付き、女性のWell-Beingになっていくのかについての意見交換ならびに柔道交流会を行う。

2 催事名：『みんな集まれ、染物体験と柔道場遊びと道場マルシェ』

3 日時：2023年11月11日（土） 第一部 09：00～10：30 第二部 11：00～12：30
第三部 13：30～15：00

4 場所：岡山大学柔道場及び剣道場

5 大会内容：子どもと保護者を対象としたベンガラ染体験と柔道場遊び、道場マルシェ

6 後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会

Event Success



～道場マルシェ～
道場アピールには、
3つの道場が参加！！

チラシの配布や
道場での運動を体験
練習日時、方針の説明等
を行っていただきました！

- 来場者 158名
- 運営協力者 72名

- 参加者総勢 230名

Preview



Preview



Preview



次年度に向けて

■ 現状の課題

- 持続的な活動としては、困難さがある運営体制

■ 目標

- 委員の負担軽減と効率的な運営体制の構築

Idea

新運営体制の導入

チーム制の採用:

広報チーム、申請チーム、
運営サポートチームの設置

役割と責任の明確化:

各チームが特定のタスクに集中

1. 広報チームの役割:

1. SNSとチラシを使った情報発信
2. ターゲットオーディエンスに合わせたマーケティング戦略

2. 申請チームの役割:

1. 助成金と後援の申請
2. 資金調達と支援獲得の戦略策定

3. 運営サポートチームの役割:

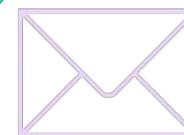
1. 会場設営と機材管理
2. 当日のスタッフ配置と運営計画

今回、私にとっても貴重な体験をすることができ、この企画を計画してくれたことを感謝しています。

普段部活動が中心となる生活において、小さい子供と接する機会が少ないため、初めは戸惑いがありましたが、接し方や表情など先生方や先輩方を見る中で少しずつ自然に接することができました。

また、柔道がかっこいいと言ってくれた子がいて、少しでも柔道に対するイメージが変わってくれたことが嬉しかったです。

今後もこのような活動を通して、少しでも柔道の人口を増やしてより盛んなスポーツになれば良いなと思いました。



最後に

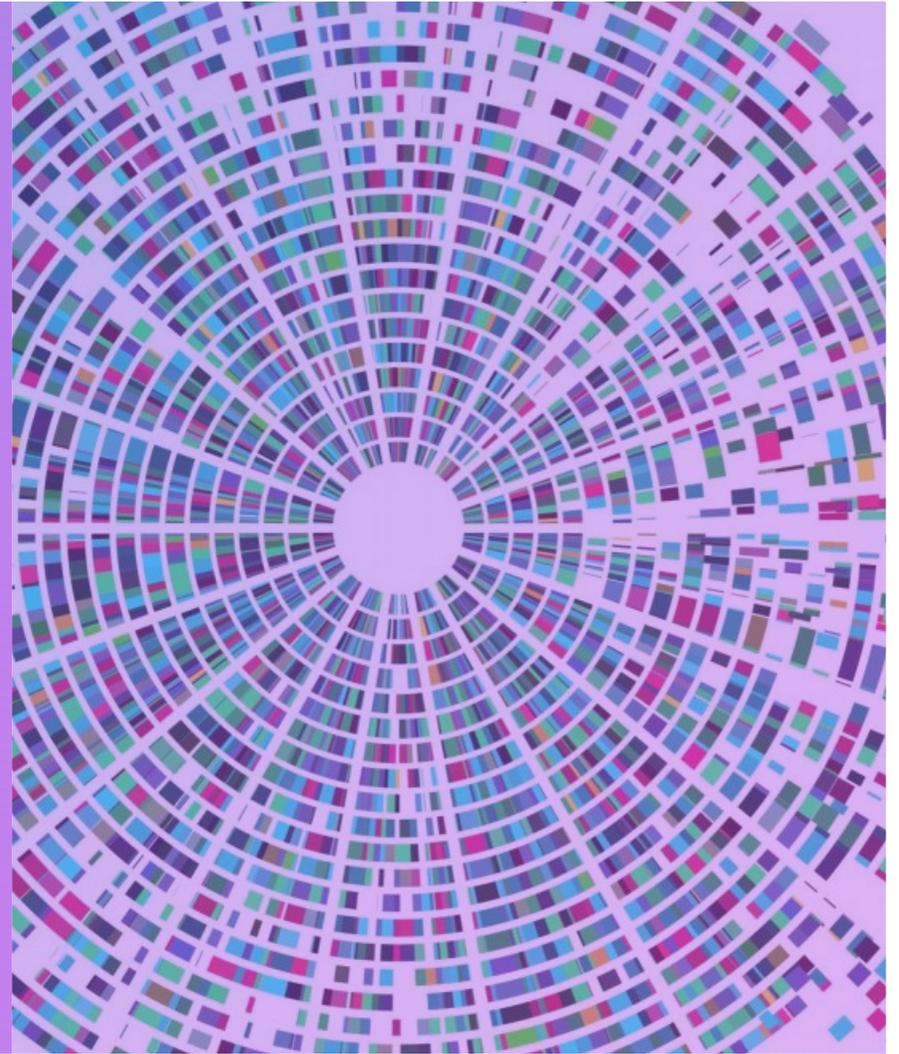
- 昨年に引き続き、女子柔道振興イベントを開催し、広く柔道の良さを親子に認識してもらおうと同時に、柔道場で目一杯遊び活動できるような企画を立案しました。そこで、「2023年柔道振興イベントinおかやま」では、子どもたちと保護者の皆さんが、地域の道場の先生方と触れ合いながら、柔道の魅力を実感できるような活動を行いました。活動を通して、地域の道場の先生方と女子柔道の振興に向けた現状と今後の計画を共有し、相互に交流する貴重な時間となりました。
- さらに、昨年に比べて、柔道経験者のお母さんが子供を連れての参加ケースが増えたこと、参加者の保護者で来年のイベント運営への参加希望の声が複数寄せられたことは、私たちにとって大きな成果であると感じています。今後もこの経験を生かし、柔道のさらなる振興に努めます。



2023年
女子柔道振興イベント
JUDOフェスタ
inおかやま

実施報告書（2）

運営スタッフ
として関わった
学生振り返り
アンケート結果





イベント運営の課題

駐車場の管理と案内の改善：

- ✔ 駐車場の位置や案内に関する混乱があった。
- ✔ 駐車場係の立ち作業が長時間で大変だった。
- ✔ 駐車場のスタッフ交代がスムーズに行われなかった。

役割分担とスタッフの管理：

- ✔ 役割分担が不明確で、スタッフ間での連携が困難だった。
- ✔ 特定の活動が始まると他の係がやることのない状態になってしまった。
- ✔ スタッフの配置や役割回りの効率化の必要性。

活動の参加機会と安全性：

- ✓ 全員が柔道遊びに参加できなかった。
- ✓ 活動中の安全性（特に頭部の怪我）に対する懸念。
- ✓ 子供との交流における泣いている子や親から離れない子への対処法。

資材と活動の管理：

- ✓ ベンガラ染めの材料が余りすぎている。
- ✓ 活動の展示方法（特に投げ技）に関する提案や、参加者の多様なニーズへの対応。

A person's hands are shown holding a red gift box with a white ribbon bow. The background is a soft, out-of-focus purple and blue gradient. The text "イベントに向けた提案" is overlaid in white on the gift box.

イベントに向けた提案

活動と体験の拡充：

- ✔柔道遊びの時間を増やす。
- ✔ベンガラ染めの指導を詳しく行う。
- ✔ゲームや体験活動（例：けん玉、手押し相撲）を増やす。
- ✔子どもと大人の両方が参加しやすい活動を考案。

親子参加の促進：

- ✔親子で一緒に参加できる活動の導入。
- ✔柔道着試着会など、親子で楽しめる体験を提供。

参加促進と宣伝の強化：

- ✔ 学生や保護者を通じた参加の促進。
- ✔ インスタグラムなどのSNSを活用した宣伝。
- ✔ 地域のスーパーなどでチラシを配布。

組織と運営の改善：

- ✔ スタッフの役割分担と時間管理の改善。
- ✔ 会場の地図配布や駐車場案内の充実。
- ✔ 活動のローテーションをスムーズに行うための計画。

学生自身の学び

柔道とコミュニケーションスキルの重要性：

- ✓ 子どもの笑顔からエネルギーを得られた！
- ✓ 柔道を通じて人間力を高めることの重要性を再認識。
- ✓ 子どもたちに優しく接し、貢献の気持ちを持つことの大切さ。

柔道への情熱と理解の深化：

- ✓ 柔道の魅力を再認識し、柔道人口増加への貢献を意識。
- ✓ 子どもたちとの触れ合いを通じて自己成長を実感。
- ✓ さまざまな年齢層に合わせて柔軟に対応することの価値。

社会貢献と地域への関与：

- ✔社会貢献活動への新鮮な経験と地域との接触。
- ✔地域に愛されるチームづくりと人間性の向上。

コミュニケーションと教育スキルの向上：

- ✔子どもたちへの接し方や教え方の学び。
- ✔保護者への配慮と対応の重要性。
- ✔状況に応じた対応力と言葉選びの重要性。



本イベントの社会的影響
をどう考えるか

女子柔道人口への影響：

- ✔️ 女子柔道人口の減少に対して、柔道が怖くないスポーツであるという認識を広めた。柔道に対する一般的なイメージを改善し、柔道が持つ礼儀や安全性についての認識を高めた。
- ✔️ 男女問わず、柔道に対する興味を喚起。
- ✔️ 子どもだけでなく、親も一緒に楽しめる活動を提供し、家族全体での柔道への興味を促進。
- ✔️ 柔道に対する興味を喚起し、特に初めて柔道に触れる家庭や子どもたちに影響を与えた。
- ✔️ 子どもたちが柔道の楽しさを友人に伝えることで、間接的に興味を広める効果。

柔道の魅力の再認識：

- ✔ ゲームやインターネットが普及する社会において、運動の楽しさやスポーツへの関心を高める。
- ✔ 柔道の楽しさや面白さを遊びを通じて伝えることが可能。

地域社会への影響：

- ✔ 地域の子どもたちとのコミュニケーションを強化し、コミュニティの希薄化問題への対応。
- ✔ 地域に柔道の楽しさや面白さを伝え、柔道を始めのきっかけを提供。



印象に残った運営スタッフ の人物とその理由

M先生：

面白くて引き付ける話し方で子供たちの注目を集めた。
笑顔で接し、子供たちと円滑に柔道場遊びを進めた。

Nさん：

子供たちへの笑顔と愛情のある接し方が印象的。

Yさん：

周りを見て自分から率先して仕事をした。

Mさん：

指示を出し、順調な流れを作ってくれていた。
周りを見て動いていた。

Tさん：

子供たちと同じ目線で接し、親しみやすい雰囲気を作っていた。
積極的に子供たちに話しかけ、楽しませるのが上手だった。

